

wellco

株式会社 ウイルコホールディングス

私たちはお客様に、
安心品質をお届けします。

第41期 事業報告書
(2018年11月1日～2019年10月31日)

目次

第41回定時株主総会決議ご通知	1
株主の皆様へ	2
事業内容の紹介	3-4
トピックス／CSR(社会的責任)に向けた 取り組み	5
主要な連結経営指標等の推移	6
連結財務諸表	7-8
個別財務諸表	9
会社概要／株式情報	10

株 主 各 位

2020年1月28日

石川県白山市福留町370番地
株式会社ウイルコホールディングス
代表取締役会長 若林 裕紀子

第41回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、本日開催の当社第41回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

1. 第41期（自 2018年11月1日 至 2019年10月31日）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第41期（自 2018年11月1日 至 2019年10月31日）
計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金については1株あたり2円とすることに決定いたしました。

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）に若林裕紀子、若林圭太郎、大槻健、西村保彦、若林和芳、山本実、金井行雄の7名が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第41期（2018年11月1日～2019年10月31日）が終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

1. 当期の業績の概況

当連結会計年度（2018年11月1日～2019年10月31日）における我が国経済は、2019年7-9月期のGDP成長率が、年率換算で実質1.8%増と4四半期連続のプラス成長となりました。国内経済は消費税率引き上げ後の個人消費の落ち込みは限定的であり、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資が堅調に推移し、緩やかな拡大基調が続きました。一方、米中間の通商問題、英国のEU離脱などの影響が懸念されており、景気の先行きは不透明感を増しております。

当社グループを取り巻く環境は、インターネットの影響により、紙媒体による広告が引き続き減少しており、印刷用紙の国内出荷は前年同月対比で連続して減少しております。しかしながら、製紙各社による印刷用紙値上げが浸透し、製造コストの上昇傾向が続いております。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、当社独自製品やデジタル印刷の受注に注力いたしました。また、ECサイトによる受注の強化にも努めたことから、セグメント売上高は110億8千2百万円（前年同期比8.2%増）となりました。引き続き、当社独自製品の拡販に力点を置くとともに、注文のリピート率の高いECサイトの充実にも力を注ぎ、売上高の拡大を目指してまいります。製造コスト面では、オペレータの多能工化や提案制度による生産性向上等により、セグメント利益は2億1千6百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

メディア事業につきましては、紙媒体広告減少の影響を受けると同時に、WEB事業における補助金予算縮小により、受注成約率が当初の想定を下回りました。また、人材紹介事業においても、求人と応募のミスマッチングもあり、セグメント売上高は17億8百万円（前年同期比20.3%減）となりました。コスト面では、事業所の統廃合と人件費削減により固定費はほぼ予定どおりに推移した結果、セグメント利益は6千4百万円の損失（前年同期は1億4千6百万円の損失）となりました。

知育事業につきましては、子会社1社が通期で連結の対象となったことによりセグメント売上高は37億9千7百万円（前年同期比3.0%増）となりました。利益率の低い月刊誌の付録については計画どおり推移しましたが、小学校の英語教育授業実施に伴う音ペン等の教育玩具の新規引き合いについては当初予想とは異なり足踏み状態にあります。また、主力製品である音の出る絵本については、為替が想定レートより円安に振れたことにより、商品原価は高止まり状態となりました。さらに、出版においては、昨年同期の意欲的な発刊が今上期の在庫増加を招き、在庫の一時的評価減を行った結果、セグメント利益は2億4千万円の損失（前年同期は1億9千9百万円の利益）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は156億9千4百万円（前年同期比2.8%増）となり、営業損失は5億円（前年同期は営業損失1億9千万円）、経常損失は4億6千6百万円（前年同期は経常損失2億5千8百万円）、

親会社株主に帰属する当期純損失は5億4千5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2億5千4百万円）となりました。

2. 当期・次期の配当について

当社は、事業拡大や経営体質の強化を図るために必要な資金を内部留保しつつ、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株あたり2円としております。

なお、次期の配当につきましては、経営環境、業績見通し等を勘案し、引き続き、1株あたり2円を予定しております。

当社では収益の改善に努め、継続的に利益を確保できる企業体質を目指してまいりますので、株主の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

3. 今後の見通しについて

主力の情報・印刷事業におきましては、デジタル印刷を中心に新商品開発を含め顧客価値を向上し、受注面ではWEB受注をさらに充実させお客様の発注コストの低減とともに当社の合理化と双方の利益を追求してまいります。メディア事業におきましては、「地域密着型のお役立ち事業」という永続的な事業コンセプトのもと、お客様のニーズに対しきめ細かく対応すべくサービスの拡充（WEB、紙、コンテンツの提供、イベント企画、セミナー、求人、人材紹介等）とそのシナジーを発揮してまいります。また、知育事業におきましては、株式会社ウイズコーポレーションの株式譲渡を12月2日に行ったことから、売上高は減少いたしますが、セグメント利益△2億4千万円の負担は大幅に削減される見込みです。

以上により、次期（2020年10月期）の連結業績は、売上高140億円、営業利益1億2千万円、経常利益1億円、親会社株主に帰属する当期純利益2億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年1月

株式会社 ウイルコホールディングス
代表取締役会長 若林 裕紀子

情報・印刷事業

- 販売促進企画
- 商業印刷
- 出版印刷

お客様とともに「最良」を創り上げる追求心

顧客価値の高いオリジナル製品は、お客様のご要望を形にする過程で生まれたものがほとんどです。

「お客様にとって"最良"の製品」をモットーに、デザイン制作から印刷、加工まですべての工程において今まで以上の製品を目指し、業務にあたっています。

国内屈指の最新鋭設備

輪転機と加工機を直結することにより最終製品まで仕上げるインライン・フィニッシング・システムをはじめ、小ロット多品種の大量可変印刷に対応するデジタル設備の導入など、最新鋭の機械設備によって、印刷に関する様々なニーズに応えます。

ユニークでギミックが効いた製品ラインナップ

開く・めくる・はがす、紙ならではのギミックを効かせた製品ラインナップは、受け取った方が思わず「アクションを起こしたくなる」工夫が満載です。これらのオリジナル製品を通じて、開封率やレスポンス率を高める効果的な販促ソリューションをお客様に提供します。



ポップアップ・リーフレット

充実したクリエイティブ体制

消費者を引き付ける販売促進ツールを提供するため、40名を超えるクリエイティブスタッフが効果的な企画立案からデザイン編集までお客様をサポートします。書籍出版のための組版スタッフも充実しています。また社内撮影スタジオでの専属カメラマンによる撮影、Webクリエイターによるデジタルコンテンツなど幅広いニーズに対応しています。

環境にやさしい製品の推進

剥離紙(台紙)をなくしてゴミを減らす「ライナーレスラベル」や「ごみゼロラベル」、針金を使わない糊付け製本の「グルー製本」など、環境対策型製品の提供・普及に努めています。また、印刷工程においても「水なし印刷」を推進し、環境へ配慮しています。

ウェブ受注拡大への取組

ECサイト「ウイルダイレクト」による、デジタル印刷の受注増加を図っております。また、独自製品や成功事例を紹介する印刷製品ウェブサイト「賢者の販促」を通じて、販促に効果的で最適なツールを提案します。



ごみゼロラベル®



バリエブル印刷

業界一の圧倒的な高品質と高付加価値印刷を実現するデジタル・オフセット印刷機。一般商業印刷、出版、フォト、紙器パッケージに至るまで幅広いアプリケーションに対応。



1to1 マーケティングを実現する
バリエブル印刷

高品質を実現する最新の
デジタル印刷設備

柔軟にマーケティングと連動する
API to Print

さまざまなDMを制作できる独自の
加工設備

メディア事業

■ 無料情報誌の発行

地域密着の無料情報誌

ばどの基本的コンセプト「地域密着」を軸に、地域の人々の声を、また、地域の事業者様の広告を地域の人々に発信する紙媒体としての機能を果たしています。

人材ソリューション事業

地域に根ざした情報を、紙、IT、そして合同就職イベント等多様なメディアを駆使しながらお届けし、企業と求職者のマッチングを図っています。

ウェブマーケティング事業

長年のフリーペーパー発行で培った成果の出る販促ノウハウをもとにホームページ制作～コンテンツ企画～コンサルティングをワンストップで提供する事業を展開しています。



知育事業

■ 企画・出版
■ 教材開発

成長につながる絵本・児童書

人気の童謡を収録した、聞いて、歌って、遊んで楽しめる「音えほん」やスポンジのように軽いウレタン素材のパズルブック、小学生から中学生向けの児童書など、子どもの成長や年齢に合わせた商品をラインナップしています。



創造力を引き出す商品

安全面に配慮して作られた積み木や、自由自在に組み合わせることができるブロックなど、子どもたちの創造力を引き出す様々な商品を開発しています。



「第31回読書感想画中央コンクール」指定図書に選定



「読書の感動を絵画表現することにより、児童・生徒の読書力、表現力を養い、読書の活動を振興すること」を目的とした「第31回読書感想画中央コンクール」の指定図書に、当社グループ出版の絵本が選定されました。

「イベントJAPAN2019」「イベントツールウエストジャパン2019」出展

2019年1月に東京ビッグサイトにて開催された「イベントJAPAN2019」に出展し、「特殊加工製品」「デジタル印刷製品」「その他オリジナルグッズ」の3つのカテゴリーに絞り、展示・ご紹介させて頂きました。

5月には大阪南港のATCホールにて開催された「イベントツールウエストジャパン2019」に出展し、集客・販促ツールの他、施設・観光地などで観光客やお子様に喜んで頂ける「POP-UPシール」「オリジナルふせん」、はさみも糊もいらぬ「魔法のペーパークラフト」などを展示いたしました。

展示会を通じて様々なご感想やご意見を賜り、今後の製品開発や事業展開に役立つ大きなヒントを得ることができました。

当社グループでは引き続き様々な展示会を通じ市場に新製品を投じて、受注の増加や販路の拡大を進めていきます。



CSR(社会的責任)に向けた取り組み



定期的な献血活動の実施

当社グループでは、本社地区において5月と10月の年2回、献血活動を行っております。長年にわたっての活動を通じ、より一層の社会貢献を図ります。

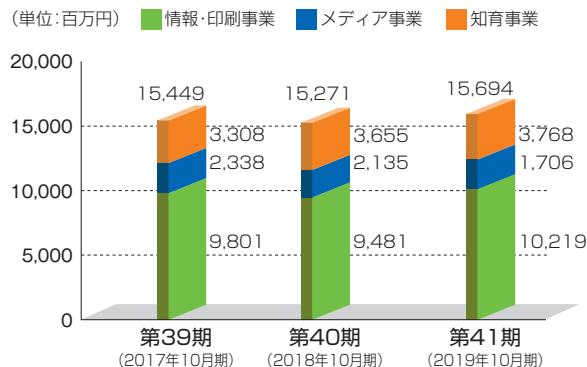


ペットボトルキャップの回収活動に参加

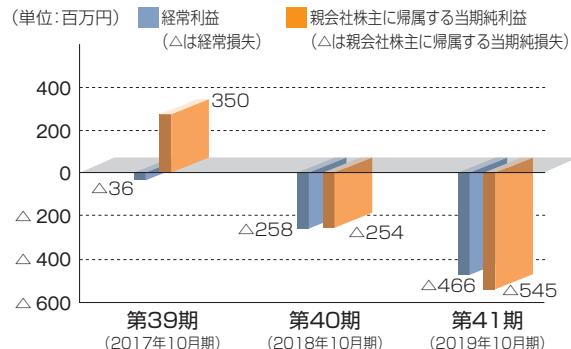
当社グループでは、ペットボトルキャップを分別・回収し、日常生活の中でできる環境問題への取り組みと発展途上国の子どもたちへワクチンを贈る活動に参加しています。

// 主要な連結経営指標等の推移

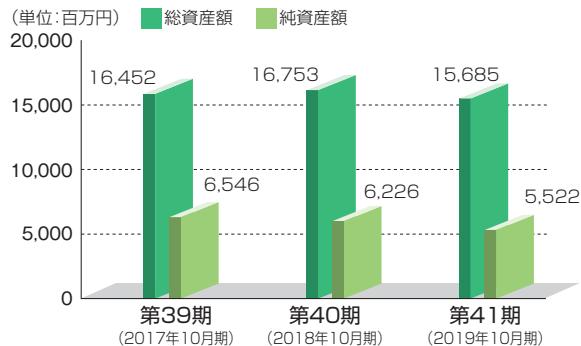
売上高



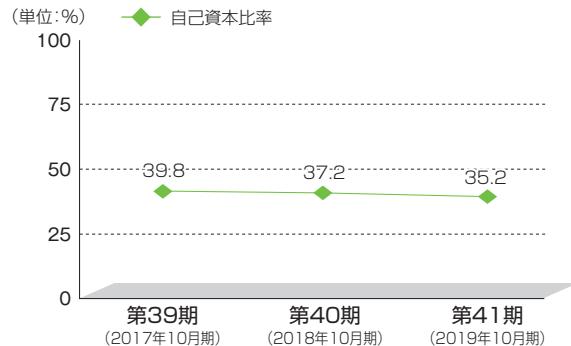
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



総資産額／純資産額



自己資本比率



(ご参考)

(単位:百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度	前年同期比	増減率
情報・印刷事業	10,219	9,481	738	7.8%
メディア事業	1,706	2,135	△ 429	△ 20.1%
知育事業	3,768	3,655	113	3.1%
売上高	15,694	15,271	422	2.8%
情報・印刷事業	216	199	17	8.7%
メディア事業	△ 64	△ 146	81	△ 55.9%
知育事業	△ 240	199	△ 439	△ 220.4%
セグメント利益	△ 88	252	△ 340	△ 135.0%
全社費用	△ 412	△ 442	30	△ 6.8%
営業利益	△ 500	△ 190	△ 310	163.3%

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度末	前連結会計年度末
	2019年10月31日現在	2018年10月31日現在
資産の部		
流動資産	8,817	8,908
現金及び預金	3,925	3,850
受取手形及び売掛金	3,565	3,696
商品及び製品	678	700
仕掛品	160	158
原材料及び貯蔵品	340	197
繰延税金資産	—	0
その他	159	321
貸倒引当金	△ 12	△ 15
固定資産	6,867	7,844
有形固定資産	5,083	5,812
建物及び構築物	1,072	1,147
機械装置及び運搬具	575	684
土地	2,119	2,602
リース資産	1,236	1,327
建設仮勘定	43	—
その他	36	51
無形固定資産	401	584
のれん	328	500
その他	72	83
投資その他の資産	1,381	1,447
投資有価証券	936	1,019
長期貸付金	138	142
破産更生債権等	5	34
繰延税金資産	3	—
その他	330	343
貸倒引当金	△ 32	△ 91
資産合計	15,685	16,753

科目	当連結会計年度末	前連結会計年度末
	2019年10月31日現在	2018年10月31日現在
負債の部		
流動負債	5,535	5,548
支払い手形及び買掛金	1,694	1,844
電子記録債務	1,647	1,307
短期借入金	382	450
1年内返済予定の長期借入金	818	762
リース債務	241	232
未払金	490	503
未払法人税等	22	37
繰延税金負債	—	3
預り金	14	13
返品調整引当金	3	57
賞与引当金	74	90
設備関係支払手形	10	—
資産除去債務	—	14
その他	133	231
固定負債	4,627	4,977
長期借入金	2,604	2,881
リース債務	1,101	1,208
退職給付に係る負債	511	480
繰延税金負債	302	303
資産除去債務	24	24
その他	83	79
負債合計	10,163	10,526
純資産の部		
株主資本	5,469	6,063
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	2,047	2,641
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	52	163
その他有価証券評価差額金	51	89
繰延ヘッジ損益	5	34
為替換算調整勘定	△ 0	12
退職給付に係る調整累計額	△ 3	26
純資産合計	5,522	6,226
負債及び純資産合計	15,685	16,753

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2018年11月1日から 2019年10月31日まで	2017年11月1日から 2018年10月31日まで
売上高	15,694	15,271
売上原価	12,681	11,949
売上総利益	3,012	3,322
販売費及び一般管理費	3,513	3,512
営業損失(△)	△ 500	△ 190
営業外収益	121	76
営業外費用	87	144
経常損失(△)	△ 466	△ 258
特別利益	149	209
特別損失	182	164
税金等調整前当期純損失(△)	△ 499	△ 212
法人税等	45	41
当期純損失(△)	△ 545	△ 254
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 545	△ 254

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2018年11月1日から 2019年10月31日まで	2017年11月1日から 2018年10月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	57	627
投資活動によるキャッシュ・フロー	592	△ 63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 541	△ 291
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	148	275
現金及び現金同等物の期首残高	3,253	2,978
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 0
現金及び現金同等物の期末残高	3,402	3,253

連結株主資本等変動計算書 (2018年11月1日から2019年10月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
2018年11月1日残高	1,667	1,758	2,641	△ 4	6,063	89	34	12	26	163	—	6,226
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当	—	—	△ 49	—	△ 49	—	—	—	—	—	—	△ 49
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	—	—	△ 545	—	△ 545	—	—	—	—	—	—	△ 545
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
連結子会社株式の取得 による持分の増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 38	△ 29	△ 13	△ 29	△ 110	—	△ 110
連結会計年度中 の変動額合計	—	—	△ 594	—	△ 594	△ 38	△ 29	△ 13	△ 29	△ 110	—	△ 704
2019年10月31日残高	1,667	1,758	2,047	△ 4	5,469	51	5	△ 0	△ 3	52	—	5,522

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度末 2019年10月31日現在	前事業年度末 2018年10月31日現在
資産の部		
流動資産	1,159	1,609
固定資産	8,848	9,302
有形固定資産	3,139	3,170
無形固定資産	36	2
投資その他の資産	5,672	6,129
資産合計	10,007	10,912
負債の部		
流動負債	1,093	1,162
固定負債	3,443	3,612
負債合計	4,537	4,774
純資産の部		
株主資本	5,419	6,047
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,765	1,765
利益剰余金	1,986	2,615
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	51	89
その他有価証券 評価差額金	51	89
純資産合計	5,470	6,137
負債及び純資産合計	10,007	10,912

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 2018年11月1日から 2019年10月31日まで	前事業年度 2017年11月1日から 2018年10月31日まで
売上高	677	679
売上原価	87	96
売上総利益	590	582
販売費及び一般管理費	409	443
営業利益	181	139
営業外収益	39	45
営業外費用	370	362
経常損失(△)	△ 149	△ 177
特別利益	121	151
特別損失	482	100
税引前当期純損失(△)	△ 510	△ 127
法人税等	69	56
当期純損失(△)	△ 579	△ 184

株主資本等変動計算書 (2018年11月1日から2019年10月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益準備 金	その他利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等 合計	
		資本準備 金	資本剰余 金合計		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金						利益剰余金 合計
2018年11月1日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	939	2,615	△ 0	6,047	89	89	6,137
事業年度中の変動額													
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△ 49	△ 49	—	△ 49	—	—	△ 49
当期純損失(△)	—	—	—	—	—	—	△ 579	△ 579	—	△ 579	—	—	△ 579
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 38	△ 38	△ 38
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	△ 628	△ 628	—	△ 628	△ 38	△ 38	△ 667
2019年10月31日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	310	1,986	△ 0	5,419	51	51	5,470

■会社概要 (2020年1月28日現在)

■会社の概況

商号	株式会社ウイルコホールディングス Wellco Holdings Corporation
設立	1979年5月
代表者	代表取締役会長 若林 裕紀子
資本金	16億6,762万円
本社所在地	石川県白山市福留町370番地
事業所	本社 東京事務所
重要な子会社	株式会社ウイル・コーポレーション 株式会社関西ぼど

■株式情報 (2019年10月31日現在)

■株式の状況

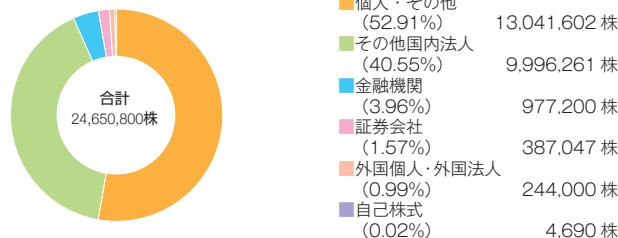
発行可能株式総数	76,600,000株
発行済株式総数	24,650,800株
株主総数	2,068名

■大株主

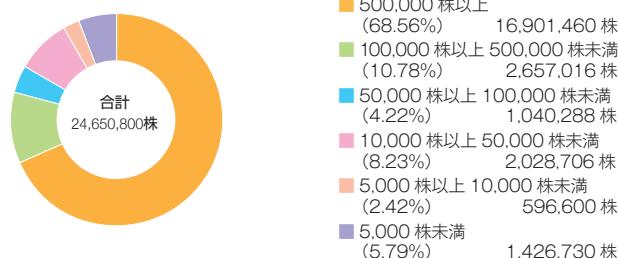
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社わかさ屋	4,800,000	19.47
若林 和芳	4,636,160	18.81
若林 裕紀子	1,920,000	7.79
株式会社日本創発グループ	1,200,000	4.86
ウイルコ役員持株会	1,161,300	4.71
株式会社桂紙業	1,000,000	4.05
大日精化工業株式会社	960,000	3.89
株式会社北國銀行	720,000	2.92
大和輸送株式会社	504,000	2.04
ウイルコ従業員持株会	486,216	1.97

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■株式分布状況 (所有者別)



■株式分布状況 (所有数別)



- **事業年度** 毎年11月1日から翌年10月31日まで
- **定時株主総会** 1月中
- **基準日** 10月31日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。
- **株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
- **公告の方法** 電子公告により当社ホームページ (<http://www.wellco-corp.com/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

- **住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。